

平成 28 年度第 3 回富山県環境審議会環境教育小委員会議事録

1 日時

平成 29 年 3 月 2 日（木） 午前 10 時から 11 時 30 分まで

2 場所

富山県民会館 301 号室

3 出席者

委員：楠井隆史委員長、尾畑納子委員、志村幸光委員、茶木勝委員、古川尊久委員、本田恭子委員、松本謙一委員、水上庄子委員、宮原美充委員

事務局：長坂理事・生活環境文化部次長、杉田環境政策課長ほか

4 議事

（1）富山県環境教育等行動計画（仮称）（案）の策定について

事務局が富山県環境教育等行動計画（仮称）（案）について説明した。審議の結果、一部修正のうえ環境審議会に報告することが了承された。

（2）今後の進め方について

事務局が富山県環境教育等行動計画（仮称）策定スケジュールについて説明した。

4 主な意見・質疑応答

〔委員〕

（資料 2-2、P 22）丁寧に対応されておりよいと思うが、今回追加されている「事業者・民間団体、地域で活動する団体などの活動等に対する支援」の「など」と「等」はどちらかだけでよいのではないか。

〔事務局〕

はじめの「など」は活動主体、次の「等」は活動内容について例示以外に複数あることからそれぞれ記載したが、ご指摘のとおり、どちらかとなるよう文言を整理し記載する。

〔委員〕

（資料 2-2、P 19）具体的な取組みの 3 点目の追加箇所について、「学校や地域などでの活動や出前講座・自然解説などで活用」とあるが、「出前講座・自然解説など」は「学校や地域などでの活動」の例にあたると思うので、記載を整理するべきと考える。

[事務局]

ご指摘のとおり、「出前講座・自然解説など」は「学校や地域などでの活動」の例になるため、文言を整理し記載する。

[委員]

(資料2-2、P19) 具体的な取組みの2点目の追加箇所について、「参加の呼びかけ」とあるが、どのようなことを指しているのか。

[事務局]

パブリックコメントでいただいたご意見の中にあつた、地球温暖化防止活動推進員の研修などの教員の方々への案内などを想定している。

[委員]

同じ箇所であるが、記載としては、「参加の呼びかけ」を先に書き、その後に「研修内容の充実」の順にすればよいと思う。

[事務局]

ご指摘のとおり、記載を変更し、「研修の参加の呼びかけ」、「研修内容の充実」の順となるよう修正する。

[委員]

(資料2-2、P24) 具体的な取組みの3点目について、ESDは取組みが始まって約10年が経っており、ESDの取組みは学校だけではなく、地域など様々な場所で取り組まれているものであるから、学校教育に限定した記述でなくてもよい。「今後の学習指導要領の改正等」の記載は削除すべきである。

[委員]

「今後の学習指導要領の改正等」を削除すると「ESDの推進にあたっては国の動きも踏まえて対応」だけとなり、後ろ向きの印象を受ける。「国の動きも踏まえて積極的に対応」など、文言を追加してはどうか。

[委員]

市町村に対して行ったアンケート結果(参考資料3、P42)の問5を見ると、環境教育の事例等の情報の提供を求められているが、これまでも情報の提供は行っていることだと思うので、より一層、環境教育等を推進するため、県が率先して、もう少しふみ込んだ協働のあり方を見せることも必要だと思う。

例えば、福井県では富山県の組織でいう生涯学習・文化財室が中心となって、ESDの講座を青少年自然の家で行うことなどをして、ESDの推進方法を示している。

[委員長]

県と県教育委員会の関係もあるが、教育というと県教育委員会が関係する部分が多くなるので、県教育委員会と連携を図り、取組みを推進する必要があるのではないか。

[事務局]

福井県での事例については調査し、取り入れることができる点があれば、対応を検討してまいりたい。また、学習指導要領については、国の方から現段階での案が示されているが、E S Dについてはあまり触れられておらず、引き続き、国の動きを注視してくるとともに、委員ご指摘のとおり、「積極的に」という点についても併せて考えてまいりたい。

[委員]

資料2-1の「概要」において、第3章の6つの取組みを「主体的に参画する人づくり」と「取組みが広がる仕組みづくり」の2つの視点に分けて記載されたことにより、分かりやすくなったと思うが、資料2-2の計画本文の19ページの最初の5行の部分にもこの2つの視点を追加することで、概要と計画本文の整合が図られると考える。

また、概要の番号についても、1から6の通し番号ではなく、それぞれの視点ごとに(1)から(4)、(1)から(2)と分けたほうが分かりやすいと思われる。

[事務局]

ご指摘のとおり、資料2-1、資料2-2の第3章について、整合を図り、分かりやすくなるよう記載を検討する。

[委員]

(資料2-2、P4)「(1)策定趣旨」の1段落目について、2ページの「(2)国の動き」の2段落目と全く同じ文章である。どちらかを簡略化するなり、記載を変えるべきと思われる。

[事務局]

ご指摘のとおり、全く同じ文章であるので、2度目に出てくる4ページの記載を削除又は簡略化するなど内容を整理する。

[委員]

様々な活動をしている団体等があるが、それが広がっていないのが現状と思う。今後、活動を広げるには、具体的な目標を定め、推進体制の充実を図ることが必要である。

[事務局]

目標設定については、来年度から開催を予定している庁内連絡会議で、しっかりと検討・整理し、対応してまいりたい。また、本計画は来年度から実施段階に入るので、計画が適切に進捗するよう対応してまいりたい。

[委員長]

計画の実施にあたっては、一歩前に入るような目標値の設定など、積極的に対応いただきたい。

[委員]

E S Dの取組みを既に10年やっているわりには、学校現場ではあまり推進されていない。ユネスコスクール以外の学校では、E S Dを知らない先生もいる。E S Dに積極的に関わっていただける体制づくりをお願いしたい。

[委員]

企業で環境マネジメントシステムを運用していると、分かりやすい目標設定を求められる。本計画が適切に実行されるよう、計画の実施にあたっては、具体的な目標値を設定するよう検討いただきたい。

なお、E S Dについては、小委員会に参加するまで知らなかったが、小委員会に参加している中で、「E S D」という言葉自体が一般に普及していないと感じた。目標設定するのであれば、県内の小中学校に通う児童・生徒が知ることができるような目標設定をしていくことがよいと思う。

[委員長]

E S Dは関係者の中では熱心に議論されているが、ご意見のとおり、一般に普及していない面も確かにある。県が普及を促す触媒としての役割を果たすことを期待したい。

[委員]

協働コーディネーターとして、研修会への参加などの活動を行っている。これらの活動を土台として、中間支援組織の設立なども並行して取り組んでいくので、ご支援をお願いしたい。

[委員長]

文字の修正、E S Dの推進に関する事など様々なご意見をいただいたが、これらの修正については、委員長に一任いただきたい。

(全委員、了承)